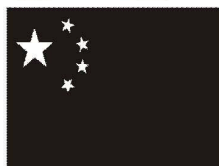
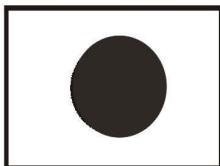


日中かわぐち

No. 50

2014年1月1日

ホームページ
www.k-jcfa.com



川口市日本中国友好協会
川口市上青木1-20-3
TEL 048-253-2177
発行責任者 栗原喜一郎

編集・制作 电脑倶楽部

これからの友好交流

理事長 栗原 喜一郎

「日中間の関係は個人と
個人の関係が大事」

世界的に有名な交響楽団指揮者小澤征爾氏の言葉です。去年九月に新聞の朝刊第一面に書かれておりました。領土問題をめぐり、日本と中国の関係が難しくなってきた時です。抗日、排日、反日、嫌日の文字を視聴し、そのデモをテレビで見、日中の友好交流の難しさを感じている時でした。中国で生まれ、中国に親しい友達にいる小澤氏だから、そのように考えているのだろうかと思っていた矢先、中国の社会思想研究家の孫歌氏のエッセーを読みました。

「日本に行くと言ったら、弟から日本は危ないからやめろと言われた。内閣の強硬姿勢を繰り返し繰り返し報道されれば、誰もが危ないと言うだろう。だが私にとってテレビに映らない日本が真実の日本だ。日本に行つて日本人に会えるのだ」

（図書一〇一一年十二月号）
「報道等には裏と表があり、むしろ裏に真実が隠れていることも少なくありません」とは私が尊敬する先生から教えられた言葉です。

国と国との関係が難しくとも、両国の個人と個人との信頼関係を結ぶことはできるのだとの考えに至ったのです。



汪参事官挨拶

川口市日中友好協会は今年創立四十周年を迎えました。それを記念して、六月

に中国大使館より友好交流部参事官汪婉大使夫人ほか十一名の職員を迎えての交流会を開催いたしました



鑄造工場視察

創立期の困難を想い、今後の友好交流事業を考えた時、難しい時期であろうと、個人と個人の友好親善の絆を結ぶことを進展させるべきであるとの思いに達しました。そのため、民間団体である協会としての役割を担い、事業を展開していくべきと思います。

協会員の皆様の一層の結束と、友好交流事業への協力をお願いいたします。

川口親子教室 鳩ヶ谷小学校
大使館訪問と科学技術館

理事長代行 加藤 展裕

川口市日中創立四十周年を迎えた記念の年、七月三十一日に明治五年創立の鳩ヶ谷小学校の皆さんと大使館を訪問しました。



科学技術館

協会より十四名を含め、児童・父兄・学校関係者総勢六十四名、バス二台で八時三十分鳩ヶ谷小学校出発。林校長栗原理事長の挨拶の後、車中飯塚理事による中国語の指導を受け、午前中は科学技術館で日本の最先端技術を参観、子供達であるいは親子で展示

物の見学や実験を行い、館内でお弁当を食べてお腹を満たしました。午後二時三十分大使館到着、友好交流部孫一等書記官、呂書記官、王書記官の出迎えを受け敷地内の施設や庭園を見学後館内へ入り、最初に世界遺産の映画を鑑賞して、子供たちは中国の建築文化に興味を持ち夢が広がったことと思います。



大使館でお八つ

今年は大使夫人・友好交流部参事官の汪婉さんが公務で北京に戻っており、孫永剛一等書記官より歓迎の挨拶がありました。次いで林校長より大使館の皆様のご意に対する感謝の言葉と、子供達がこの機会を契機に国際的視野を広げるよう希望するという挨拶

がありました。

その後子供たちの質問に対し、呂書記官、王書記官の丁寧な説明があり、また途中大使館が用意してくださった春巻、ゴマ団子、万頭等をいただくと一緒に緊張がほぐれ中国の文化を学びました。子供達の日常生活、学校活動について理解を得られたものと思います。また、大使館よりお土産が用意され子供たちは大喜び、良い記念になりました。



大使館玄関にて

最後に栗原理事長が謝辞と挨拶を申し上げ、正面玄関前で記念撮影を行い帰途につきました。本日参加の子供たちが近い将来日中友好の架け橋になることを願う次第です。

二〇一三年

たたら祭り水餃子販売

内野 繁子

今年是一段と厳しい猛暑の中、八月三日(土)・四日(日)にたたら祭りが開催され、川口日中も水餃子販売で協賛いたしました。



たたら開店前

今まで餃子の餡と皮を担当してくれた中国組のコックさんがまだ来日できず、研修生も土曜日は休みが取れないとのこと、中止したらどうかという提案もありました。しかし三十一年以上続けてきた川口日中・铸件研修生と市民のふれあいの窓口を消さないでほしいとの理事会決定で急遽、

餃子作りベテランの飯塚会員ご夫妻・徐会員を中心に中国語講師・会員の協力をいただき無事販売にこぎつくことが出来ました。



市長の陣中見舞い

尖閣諸島問題以降、日中の友好関係の冷え込みがいろいろなところで影響しております。水餃子を販売していても例年と比べ全くそんなことは関係ないと言ったら嘘になります。しかし川口日中は、一人一人が友好関係を深めていけばお互いを理解し尊重できる人が少しずつ増え、友好の輪が広がっていくのでお隣同士仲良くしようとして先人から受け継がれております。こんなときだからこそ草の根の友好活動が大切と感じております。

今年も長年の市民との強い信頼関係と会員・研修生の真心こもった餃子作り・海研究会のご協力のお陰で、無事二日間終えることが出来ました。売上金より食材・資材・飲料・運搬費等々諸経費を差し引きまして純利益を研修生中国組と川口日中に分けさせていただきました。川口日中といたしましては中国映画無料鑑賞会の費用の一部に活用させていただきます。

(協)川口鋳物海研会・中国人鋳物研修生・組長さん・飯塚会員ご夫妻・徐会員・中国語講師・川口日中会員多くの方々のご協力ありがとうございました。

九月二十一日～二十二日

湯西川 懇親会

大場 純

川口市日中友好協会が発足して四十周年となり、その

記念行事の一環として湯西川温泉一泊旅行が企画されました。九月二十一日朝七時三〇分西川口駅前を出発して浦和インターより東北自動車道に入りました。参加者は二十七名、現地集合の一名を含め、二十八名でした。



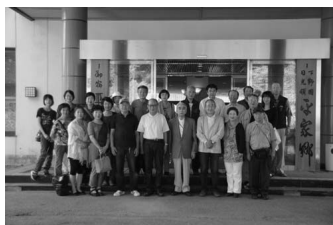
乾杯だよー

当日の天気は夏の名残りのような気温で暑く、車内はクーラーを利かせて走りました。参加者の多くは中国語教室のメンバーで、クラスの違う人たちとは映画会、忘年会以外なかなか会うことが出来ないのですが、このような企画のお陰でいろいろな人と話が出来ました。

途中佐野サービスエリアで休憩をとりましたが、川口市

内から利根川を越えるまでノロノロ運転で、佐野に着いたのが十時一五分、昼食は湯西川のホテルのため、時間が心配になりました。

日光宇都宮道路を抜け一般道に入り、鬼怒川温泉を過ぎ日光江戸村、日光猿村の近くで二度目の休憩をして山道に入りました。川治温泉を過ぎたあたりから道幅は狭く、曲がりくねった道が続く、ある人がそつと言いました。「気分が悪くなった」



宿 平家本陣前

運転手はガイドを兼ねてダムの名前、江戸から百里離れていることや、トンネルの由来を話してくれましたが、残念ながら覚えていません。この道路は日光から福島県へ続

く道路で、途中湯西川温泉方面に向かいました。



その場所は湯西川と鬼怒川の合流地点で、道路の下にJRローカル線の駅があるとの説明がありました。私たちの前を一台の路線バスが行きましたが、左は山、右は川で民家はなく、湯西川までノンストップ。十二時三〇分にホテル平家本陣に着き、昼食になりました。

夕食までは自由時間だったので、近くにある平家郷土館を見学しましたが、展示物は昭和初期の農具、民具、手工業品であり、平家の落人部落を表す桓武天皇を頭とした系図が書いてあり、平清盛の名

が大きく書いてありました。「本当かな」と思ったのは、この坂東の地へ、わざわざ落ちてくるか？

夕食は豪華で、ビンゴゲームあり、カラオケあり、おまけに、飲み放題。飲み過ぎた人はダンスホールやピンポンで楽しみ、良い休日となりました。

第三十四回

「中国語発表のつどい」

に参加して

入門B幹事・林 芳男

毎年大勢の参加者を出している川口日中の伝統のためと勝手に解釈し、早めにこの人と思う五人に声を掛けておきました。また万一のことを考えて、他のクラスの人にもお願いしておきました。

いよいよ参加申込みの段取りとなり、参加資格を見て慌てました。三ヶ月以上の留学経験や中国語圏での滞在経験

者は参加資格が無いということとです。入門クラスの幹事は初めてで私も迂闊でした。



発表中

これはと思った三人は留学や駐在経験で資格が無く、一人は仕事の都合で退室しました。



中国人留学生と懇談

残る二名は参加を受けていただき、お願いしておいた他

のクラスの人達にも了解をもらい、後は入門クラス皆で歌の「団体参加」ということで、何とか参加の形が出来ました。

その後、参加希望者の不足というところで締切りが延びて少し拍子抜けしましたが、協会や鮑先生、王先生のご指導や、何より本人の努力で当日を迎えることが出来ました。団体の歌は練習不足が心配でしたが、ちよつとした余興も加えて、後は舞台度胸頼みで迎えました。

結果は「さいたま市長賞」

や「アレビ崎玉社長賞」団体「今の日中関係を考える」と大勢の前でクラスメ



川口よりの参加者たち

最後に、今回最高賞を受賞

した女子高生の真剣な練習の姿を目にして感動しました。初めは階段の下で先生と練習している姿を目にしましたが、何度か通るうちに独りで練習している姿を目にして、本当に一生懸命という言葉がぴったりでした。「こういう高校生がいる限り日中関係は大丈夫」と内心思いながら、参加して良かったとつくづく感じました。

法人会バザー

スキップシテイ

「こども中国語教室」並びに「貴方の名前を中国語で発音しましょう」

井上 不二子

十一月十日の日曜日、スキップシテイで行われた法人会バザー参加のこのイベントも今回で四回目となりました。しかし当日の天気予報は強風昼から雨です。おまけに朝震度4の地震がありました。

終了時刻の三時までには強風

雨が降らないようにと切に祈りながら、皆で新しく購入したテントを組み立てました。



バザー出展

ベテラン揃いの川口日中ではすべての設置が一時間ほどで完成しました。十時に始まるや強風が吹き、隣のビール販売のテントはすぐに崩れましたが、砂袋設置済みの私達のテントは安泰でした。昼になっても天気は良くならず、人も去年よりぐんと少ない気がしました。

風も相変わらず吹き、向かい側の紅葉したケヤキの葉が横に吹っ飛んでいきます。来場者が少ないにもかかわらず

「こども中国語教室」にも「貴方の名前」にも多くの

方々が参加してくださいました。次回からもっと知名度を上げ、参加者が行列してくれるよう努力します。天気予報に反して雨も降らず、



子供中国語教室

終了時には日差しもあり、無事にこのイベントを終えることが出来ました。会員の皆さまお孫さんとの御来場をお待ちしております。

十一月二十四日

第十二回中国映画鑑賞会

吉田 博

協会・教室関係者や一般の方々も含め百二十八名の参加で十一月二十四日SKIPシテイにおいて開催されました。

残念ながら会長の岡本市長は公務により欠席されましたが、初のアクションシーン満載という「孫文の騎士団」が上映されました。



映画準備

アンケートでもおおむね好評で、来年の開催も楽しみにしていただけただよように感じられました。



理事長 ごあいさつ

例年に比べ、参加者数は少々劣りましたが、栗原理事長が常々おっしゃっている「反中・嫌中・抗中」が、影響されてしまったようで残念でした。

最後に、上映にご協力いただいた中国大使館・SKIPシティ、そしてお手伝いくださったスタッフの皆様にお礼を申し上げます。

四十周年記念旅行

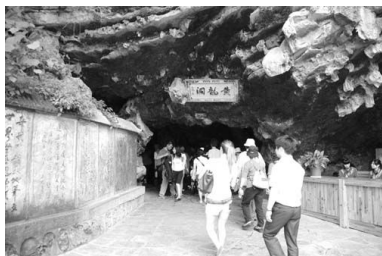
中国秘境を訪ねて

旅行幹事 副事務局長
菅原 昭

「雲南省・少数民族と
秘境八日間の旅」

秋に予定されていた視察旅行は団体旅行予定人数の十六名に達しなかったため、栗原理事長、加藤理事長代行、前田事務局長と打ち合わせの結果、来年の四月に再度計画することが決定されました。

現在中国西安の陝西国際旅行社に転勤された、張天兵副社長と打ち合わせ中です。



2012年の龍泉洞

日程は四月十六日（水曜日）～二十三日（水曜日）で進め



2011年の三峡下り

ていきます。協会の皆様に、新春には御案内することが出来ると思いますが、奮って御参

加ください。栗原理事長、加藤理事長代行、前田事務局長も体調を万全にして参加予定です。



シーサンパンナ

楽しく視察する会ですので参加皆様の健康等も考え、日程の内容を再度検討してご案内したいと考えています。ゆつたりとしたスケジュールで最低二連泊を基本的に考えて体力的に無理のない日程を考えています。「夢見る秘境シーサンパンナ」麗江「シャングリラ」をゆつたりとした旅行日程で楽しく愉快に行きましよう。

お詫びと訂正

日中かわぐち四九号（二〇一三年十月二〇日発行）「大使夫人・友好交流部参事官汪婉女士 川口市視察・歓迎交流会」の記事で「株長瀬富十郎工場」とあるのは「株永瀬留十郎工場」の誤りでした。関係各位並びに読者の皆様にご迷惑をおかけしましたこととお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

編集後記

各行事担当の方々、年末のお忙しいところご寄稿くださり感謝申し上げます。年の瀬も迫り、殺伐とした事件が多い中、五十六年ぶりの東京オリンピック開催決定に日本中が歓喜の渦に包まれました。また「おもてなし」の言葉が世界中に有名になったことは、嬉しいニュースでした。